

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

1

Jan 2025
No.358

新年のご挨拶



代表理事組合長
海藤 喜久男

新年明けまして、おめでとうございます。組合員・地域の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃より、JA事業をご利用いただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、食料の多くを輸入に依存する我が国では、世界情勢の不安定化や気候変動、世界人口の増加など、食料安定供給リスクが顕在化し、食料安全保障の強化が課題となるなか、政府・与党では、農政の基本理念や政策の方向性を示す、食料・農業・農村基本法が25年ぶりに改正がされました。

今後、施策の具体化が進み、食料安全保障の強化等に向けて農業の構造転換が図られ、特に食料の合理的な価格の形成や農業用インフラの安全管理等が図られるものと考えております。

水稲の生育は、6月では、ほぼ平年並みに近い数値で推移しましたが、茎数がやや不足し、葉色が濃い圃場が散見されました。また、7月の気象は、降水量が多く、日照が少なく、特に7月25日の大雨により、穂孕み期の浸冠水がありました。出穂は、平年並み

となりましたが、出穂に向けての稲の状態が良くなかった事で、作況指数94の「不良」という結果となりました。一方、品質については、昨年と比較すると品質が大幅に改善され、主食用米の一等米比率は98.5%となっております。

園芸の基幹品目である庄内柿においては、生育期間中の気象被害もなく果実肥大は生産者の栽培管理の徹底から大玉傾向となり、集荷量についても平年に比べ2割ほど多い2400tの集荷となりました。また、販売環境では大玉傾向から近年にない高単価の販売となりました。

生産者が肥培管理など努力し、高品質な農作物を消費地に届けている一方で、想定されていない異常気象など、生産の現場では、どうにもできない状況が踏まえ、関係機関と連携し、生産者が営農継続の意欲を持てるよう、要請運動を展開しております。

昨年開催された、第30回JA全国大会および山形県大会においては、JAグループへの期待や果たすべき役割を踏まえたJAグループの存在意義とし

て「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かな暮らしと活力ある地域社会を実現する」を掲げ、その実現に向けて、「5つの取組戦略」を全国のJAグループと共有し、一体となって実践するとしています。当JAでは、第10次中期経営計画の策定に向け、特に、生産資材の価格高騰・高止まりや激甚化・常態化する気象災害等を踏まえ、「災害に強く再生産可能な農業の実現」さらには、農業・組織・経営を支える「3つの人づくり」を、最優先実践方策として位置付けるよう策定を進めております。

引き続き、JAの自己改革を進め、農家組合員との対話と協働を通じ、事業全般に亘る改革を進めるとともに、本支所施設の再編や体制強化を図りながら、持続可能な経営基盤の確立・強化に向け事業運営に取り組んでまいります。

新年、令和7年、が、組合員並びに地域の皆様にとりまして、明るい展望が持てる年となりますよう、ご健勝とご繁栄をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新春対談

自分の目指す農業と農協との関わり



庄内たがね × SEADS 農業経営者育成学校

平向総務部長（以下部長） 今日は「自分の目指す農業と農協との関わり」をテーマに、鶴岡市立農業経営者育成学校（以下SEADS）の校長先生、研修生、研修生の5名を迎え新春対談を行いました。皆さまには、地域農業の担い手として大変心強く、また大いに期待をしております。当農協としても、困ったことがあればいつでも相談できる環境を整備しており、農協を良くき相談相手と認識していただきたいと感じています。

まず、皆さん様々な思いを持ってSEADSに入校したと思いますが、そのきっかけをお聞きたいと思っております。

青木氏 私は東京の大田市場で仲卸に勤めたことがきっかけで農業に触れました。その後新型コロナウイルス感染症がまん延し、今までの生き方、考え方ががらりと変わった時期でもありました。たまたま夫と同時期に農業に興味を持ち、東京で行われていた「新・農業人フェア」でSEADSに出会い、会社員からの移行期間として入校を夫婦で決めました。

岡村氏 私は祖母が天童市でぶどうとさくらんぼの果樹農家をしてきたこともあり、子供のころから農業をしたいと感じていたが、親から反対があり別の仕事に就きました。ずっと果樹農家になりたいと思っていたが、大阪で行われていた「新・農業人フェア」

でSEADSに出会い、本当にそれが自分に向いているのかを考えるために農業全般の研究が行えるSEADSに入校しました。

齋藤氏 私は4〜5年間、社会人経験を積むために就職していたが、中学生から農家を目指していたので、就農したいと考えていました。しかしすぐに家業を継ぐには知識も経験も少ないことから、同じ集落に住む百瀬校長に相談したところ、「SEADSで研修を受けてみたらどうだ」と言われ入校を決めました。

菅井氏 私は実家の越沢地域が老若男女問わずに活躍していることに魅力を感じ、一緒に盛り上げていきたい、絶やしてはいけないと心が揺れたときに市役所職員から勧められ、様々な知識を身につけて越沢地域に還元していきたいと考え、入校を決めました。

部長 昨年新春対談で越沢自治会の方々と対談させていただき、地域を巻き込んだ活動とその熱意に圧倒されました。その背中を見て後に続く方が出てくるのが素晴らしい。この成功事例に続いて他の地域でもこのようになっていけば地域全体が盛り上がっていくと思っております。

雪国庄内への抵抗感

海藤組合長（以下組合長） 県外からSEADSに入校した2人は雪国である山形県に移住することに抵抗はありませんでしたか。

青木氏 雪より抵抗があったのが車の運転でした。教習所以外での運転は初めてだったので、車社会に入ることが不安でした。むしろ雪国への移住に抵抗はなく、「どうせ住むなら雪国。人が住んでいるなら大丈夫」と夫婦で話していました。

岡村氏 私も車の運転が一番の抵抗でした。SEADS入校前に大阪でペーパードライバー講習に参加して、大丈夫か不安でしたが、庄内の方が走っている車の台数が少なくって運転は大阪より楽でした。

百瀬校長（以下校長） 普通自動車免許の取得と自動車の所有が入校の条件でした。

岡村氏 今となっては笑い話ですが、自動車所有の条件を知って、こちらに来てからバスと徒歩で中古車販売店まで買いに行きました。それは本当に大変でした。

組合長 県外から移住する方を迎える上でとても大事なことでだと思います。私も東京、大阪の方はよく歩かれています。印象があります。こちらでは100台位でも車を使用するので、そういう意味では車社会なのかもしれないですね。

青木氏 実際入校を考えている人の中にも車の運転と購入が壁になっている人は少なからずいると思います。

思い描いていた農業と現実

組合長 SEADSでの実習や実際に就農してみても、自分

- 本年も宜しく
お願い申し上げます
- | | |
|---------|--------|
| 代表理事組合長 | 海藤 喜久男 |
| 代表理事専務 | 小林 馨 |
| 常務理事 | 佐藤 茂 |
| 理事 | 鈴木 智 |
| 理事 | 加藤 光 |
| 理事 | 川井 利 |
| 理事 | 佐藤 宣 |
| 理事 | 阿部 博 |
| 理事 | 黒田 義 |
| 理事 | 渡部 修 |
| 理事 | 大沼 恒 |
| 理事 | 上林 幸 |
| 理事 | 佐藤 幸 |
| 理事 | 正田 幸 |
| 理事 | 宮崎 史 |
| 理事 | 鈴木 康 |
| 理事 | 田中 一 |
| 理事 | 清野 大 |
| 理事 | 小林 好 |
| 理事 | 丸山 幸 |
| 理事 | 日向 聖 |
| 理事 | 成澤 誠 |
| 理事 | 三浦 彦 |
| 代表理事 | 押切 久 |
| 常勤監事 | 佐藤 敏 |
| 監事 | 伊藤 忠 |
| 監事 | 齋藤 克 |
| 監事 | 牧藤 篤 |
| 員外監事 | 斎藤 昇 |
| 職員 | 斎藤 一 |
| 職員 | 斎藤 昇 |
| 職員 | 斎藤 同 |

が想像していた農業との違いや戸惑いはありませんか。

岡村氏 私は相当覚悟をして就農したので、想像との違いはありませんでした。就農1年目ということもあり、想像以上に作業が進みませんでした。

青木氏 私は夫婦で「農事組合法人三和あぐり」に就職したので、むしろ法人の構成員が全くわからない私たちを温かい目で見守ってくれています。

組合長 「農事組合法人三和あぐり」ではどのくらいの規模の経営を行っているのですか。また青木さんは法人で何を担当しているのですか。

青木氏 経営は稲作のみで80ヘクタールです。法人初の専属事務員として就職し、ちょうど「インボイス（適格請求書）制度」や「電子帳簿保存法」などが始まり、今まで紙で行っていたものを電子化しなければいけないタイミングでした。

佐藤常務（以下常務） 昨年の7月に豪雨がりましたが、被害はどうでしたか。

青木氏 耕作面積の半分くらいが被害にあり、はえぬき、雪若丸の収量が良くなかったです。農業は長期スパンで考え、収穫時の1回しか結果が出てこないの、一つ一つの作業に集中しないといけない緊張感があり、そこがまた楽しいところですね。

組合長 米や果樹などの1年1作の作物である、農業現場を離れるまで40〜50回しか経験できず、毎年気象条件や生育状態も違うので、よく「毎年が1年生」と言われます。

生産・出荷しているようだが、昨年はどうでしたか。

岡村氏 就農1年目ということもあり、自分がどれだけ収穫できるのかも分からず、校長先生から1日収穫を手伝ってもらいました。昨年はこの農家も大玉傾向で収量も多く、初めての私でも大玉で、収量は2割を超えました。しかしこれをベースにしてはいけないと感じました。

組合長 昨年からの開始なのであれば、大変良い年から始められたと思います。

岡村氏 正産物は全量農協出荷だが、規格外品は自分で売って大阪の知人へ送ってみました。「庄内柿」という名前を知らない人が多く、もったいないと感じました。

青木氏 農家の方も、農協の方も「庄内柿」は北海道以外では売れないとよく言うが、東京では見たこともありませんでした。

組合長 柿農家の減少に伴い、集荷量が減少していくとどうある北海道へ出荷する割合が大きくなってしまいう傾向にあります。

部長 今は7割が北海道、1割が地場、残りの2割が他の市場に出荷されるので、東京、大阪のスーパードでは目に触れる機会が少ないと思います。

岡村氏 柿農家の高齢化に伴い、園地が集約していく新規就農者や若手農家は自分で販売したいと考える方も多くいると思います。しかし私は農協出荷だとサイズ分けやさわ

実際に就農した先輩の話も聞いて、来春から就農する2名はいいかですか。

常務 SEADSに入校して一番良かった経験は、研修先の農家毎に作業の仕方や稲の見方の違いを知ることができたことです。自分の家のやり方をもっと省力化できると感じました。

組合長 特に今農業は過渡期に差しかかっており、今後開拓者としてこれからの農業をつくっていく立場になってくると思います。集落内で若い方が就農予定だと聞けば、自然と農地が集まってくると思います。

常務 それだと嬉しいのですが、自分の住んでいる集落は若い農家が多いので、ライバルも多いです。今は委託を受けている圃場周辺の農地を集約し、規模を拡大していきたいと考えています。今の栽培面積5・5ヘクタールを現在の所有する農機具のスペックだと13ヘクタールまで拡大可能だと感じているので、目標としてそこまで増やしていきたいと思っています。

菅井氏 SEADSに入校して様々な分野の方と交流が持て、人脈の幅が大きく広がりました。欲しい情報や困った時に助けてくれる方が身近にいることがわかり、思っていた就農への不安材料が大きく減りました。

校長 菅井さんは「農事組合法人あさひの輝き・まんでん」で研修を行い、様々なことを吸収させてもらっています。

菅井氏 法人で研修させてもらったことで多くの学びが

ありました。「東岩本の農地、米は自分たちが守っていく」という言葉がとても心に残っています。そして同時にやり続ける、継続していく団結力の強さを肌で感じ、これから就農する越後地域へ繋げていきたいと思っています。

常務 皆さんの考える農協のイメージとこれから農協に望むことを聞きたいと思っています。

青木氏 私は法人で事務員をしていることもあり、配布物や申請、申込等のデジタル化を行っていただきたいと思っています。わからないことの多い新規就農者にはデータの蓄積や検索、取り出しやすさが重要だと思います。

岡村氏 若手農家であればデータをもらい、オンライン申請の方が手間はかからないと思います。

組合長 組合員と顔を合わせたいという意識がコミュニケーションの一環と考えています。しかし、組合員の考えの変化に伴い、LINEによる情報提供などのペーパーレス化を進めている段階です。

校長 実際、私も研修生とのコミュニケーションギャップを感じています。農家の多くは自分と同じ世代なので、紙面での案内や申請に慣れと安心感を感じるとは思います。

青木氏 例えばヘリ防除の申込書や共済台帳の確認は紙面だと地番データとの突合せに

ありました。「東岩本の農地、米は自分たちが守っていく」という言葉がとても心に残っています。そして同時にやり続ける、継続していく団結力の強さを肌で感じ、これから就農する越後地域へ繋げていきたいと思っています。

常務 皆さんの考える農協のイメージとこれから農協に望むことを聞きたいと思っています。

青木氏 私は法人で事務員をしていることもあり、配布物や申請、申込等のデジタル化を行っていただきたいと思っています。わからないことの多い新規就農者にはデータの蓄積や検索、取り出しやすさが重要だと思います。

岡村氏 若手農家であればデータをもらい、オンライン申請の方が手間はかからないと思います。

組合長 組合員と顔を合わせたいという意識がコミュニケーションの一環と考えています。しかし、組合員の考えの変化に伴い、LINEによる情報提供などのペーパーレス化を進めている段階です。

校長 実際、私も研修生とのコミュニケーションギャップを感じています。農家の多くは自分と同じ世代なので、紙面での案内や申請に慣れと安心感を感じるとは思います。

青木氏 例えばヘリ防除の申込書や共済台帳の確認は紙面だと地番データとの突合せに

ありました。「東岩本の農地、米は自分たちが守っていく」という言葉がとても心に残っています。そして同時にやり続ける、継続していく団結力の強さを肌で感じ、これから就農する越後地域へ繋げていきたいと思っています。

常務 皆さんの考える農協のイメージとこれから農協に望むことを聞きたいと思っています。

青木氏 私は法人で事務員をしていることもあり、配布物や申請、申込等のデジタル化を行っていただきたいと思っています。わからないことの多い新規就農者にはデータの蓄積や検索、取り出しやすさが重要だと思います。

岡村氏 若手農家であればデータをもらい、オンライン申請の方が手間はかからないと思います。

時間がかかりました。データでもらえればその手間はかからず、印刷代や紙代、管理や確認のコストも減らすことができます。そして同時にやり続ける、継続していく団結力の強さを肌で感じ、これから就農する越後地域へ繋げていきたいと思っています。

常務 効率化が求められていることはよくわかります。

校長 青木さんは法人の事務書類をデータ化し、これまでの書類をデータ管理していただけます。今後法人側からの要望として出てくると思います。

常務 どこかで英断しなくてはならないと考えているが、現状、利用の範囲や組合員がどこまで求めているか整理している段階です。

校長 まず利用者の範囲を限定して使用してもらい、改善点を聞きながら運用するのが良いと思います。

組合長 今のままでは非効率でミスの原因にもなると思うので、スピード感をもってデジタル化・ペーパーレス化を進めなければならぬと感じます。

「庄内柿」の魅力と価値

組合長 岡村さんは庄内柿の

うにしていきたいです。

岡村氏 昨年は全てが初めての作業で、まずはやってみようという気持ちで、そこから出た皆さんの課題や失敗を反省し、1つずつ怖がらずに改善、変更するチャレンジをしていきたいと思っています。

菅井氏 私も作業面でのチャレンジを忘れずに行っていきたいです。さらに大規模農業にあこがれて農家を目指したので、その基盤づくりを行っています。

菅井氏 自分の作業がすべて収穫物に出てくるのが農業であると感じています。今年も初心を忘れず、一生懸命に何事にもチャレンジしていきたいと思っています。

校長 SEADSは今年開校6年目となり、第2ステージを迎えると感じています。初心に立ち返って新たな一歩を踏み出していきたいと思っています。

常務 研修先の農家からは熱心に指導していただき、農協をはじめ関係各所からは多大なる支援をいただいています。

組合長 皆さんの地域の担い手農家として大変心強く思いました。そして県外から来た方も、地元の方も皆、協力し

てこの地域を守ることが、地域の農業を守ることに直結すると感じました。またこの地域に住む私たちがはわからないハードルや課題があることがよくわかりました。

常務 皆さんの農業に対する希望や期待、思いを聞かせてもらい、大変参考になりました。今日聞いた意見を活かした事業を行っていかなくてはならないと感じました。今後の皆さんの活躍に大いに期待しています。本日はありがとうございました。

SEADSで学び、得たもの

SEADS 校長 百瀬 清昭氏

SEADS 修了生 青木 麻衣氏

SEADS 修了生 岡村 絵美氏

SEADS 研修生 齋藤 拓斗氏

SEADS 研修生 菅井 奈緒氏

SEADS 代表理事 組合長 海藤 喜久男

SEADS 常務理事 佐藤 茂春

SEADS 庄内たがわ 総務部長 平向 秀一

SEADS 代表理事 組合長 海藤 喜久男

SEADS 常務理事 佐藤 茂春

SEADS 庄内たがわ 総務部長 平向 秀一

SEADS 代表理事 組合長 海藤 喜久男

SEADS 常務理事 佐藤 茂春

SEADS 庄内たがわ 総務部長 平向 秀一

SEADS 代表理事 組合長 海藤 喜久男

SEADS 常務理事 佐藤 茂春

SEADS 庄内たがわ 総務部長 平向 秀一

SEADS 代表理事 組合長 海藤 喜久男



「大瀧習字教室」×
「致道館高校書道部」の
超大作!



自分の人生を豊かにしてくれた書道

三川支所管内 大瀧 しのぶさん(44)



私は友達が通っていた習字教室に自分も通い始めたことがきっかけで書道を始めました。昇段や書道展での受賞ができたこともあり、自分に合っているのだと感じていました。その後たまたま作品を目にした方から声をかけて頂いて始めた自身の習字教室も今では20年以上となり、現在は三川、斎、余目の3地区で約100名の生徒に指導をし、格別のやりがいを感じています。美しい字が書けることや資格は一生涯の財産であると、自分の経験から感じ、書道を続けること、さらには師範免許の取得をすることが大切であると、生徒の目標である昇級・昇段、書道展での受賞にプラスして声掛けをしています。今年で3年目を迎えた書道パフォーマンスは、初めての試みとして「山形県立致道館高等学校書道部」のメンバーとコラボを行いました。実現できたのも人と人とのつながりによるものが大きかったと感じています。今後は自身も新たな資格取得、書道展への出展を目指し作品づくりを行いたいと考えています。また教室では生徒の目標が実現するように気合いを入れて指導していきたいと思っています。

健康で思いやりのある
優しい子に育てね!

羽黒支所管内 瀧 義続くん(6)・薫ちゃん(3)

運動、工作、色々なことに興味津々でも集中して取り組む義続くん!野菜も果物も大好き。みかんが一番好きです。自由でマイペースな薫ちゃんは、納豆が大好き!大きくなったらアンパンマン号の運転手さんになるのが夢です。

サッカー選手になるのが夢!

絵本を読むことや歌を歌うことが大好き!

二人でポーズ!!



あいとキッズ

ファミリーファーム

FAMILY FARM

経験に学びと最新技術をプラスして



立川支所管内
村井 由弥さん(38)・富雄さん(62)
七雪さん(5)・祐仁くん(3)

(由弥さん) 私は、新庄市にあった山形県立農業大学校を卒業後、20歳で専業農家として親元に就農しました。現在、水稲18㍓、菊をハウス2棟、転作として大豆、そば3㍓を両親と一緒に栽培しています。農業は、これまで行わなければならないこととして水稲栽培に必要な除草や施肥、防除などを漠然と行ってきましたが、農村通信社で行われている「稲株塾」に一昨年から参加し、なぜ行うのか、どのように行うのかを深く学ぶことで、より楽しく、やりがいのある仕事だと感じるきっかけとなりました。

また、現在JA庄内たがわ青年部の副委員長として圃場巡回や研修会には積極的に参加しています。他を見て知ることで自分の圃場のことや考えを改善できていると感じています。今後、耕作面積も増えることが予想されるので、営農支援システム(ザルビオ)やドローンによる可変施肥など最新の技術も取り入れていきたいと考えています。しかし基礎があつての最新技術だと思うので、これからも自分自身の研鑽は怠らないようにしていきたいと思っています。

SHONOSEI TRY

庄農生トライ



自信と誇りをもてる品種を作出したい 食料生産科3年 丸山 夕陽さん

つや姫が私の住む藤島で誕生したことを知り驚きました。新しい品種ってどうやって作るんだろう?私はそこから育種について興味を持ちました。育種について本格的に学びたいと思い、山形県農業総合研究センター水田農業研究所でインターンシップを行い、つや姫が出来るまでの過程について教えていただきました。品種作出にかけた時間や労力は膨大でした。しかしそれ以上に育種への情熱、研究員の「日本一の美味しい米はつや姫だと自信を持って言える」という言葉から、自信と誇りを感じたことで、私もこの仕事につきたいと強く思いました。近年、夏の暑さによるお米の等級低下が全国的におこり問題になっています。日本の主食でもあるお米の安定供給を図る為にも、耐暑性のある品種の作出が急務です。私は高校卒業後、東北専門職大学に進学します。将来は耐暑性のある品種について研究を深め、いつか「この米は私が育種した品種だ!」そう胸を張って言えるように頑張りたいです。



キュウリ・高温対策と防除の徹底で収量増加目指す

楡引地域の下山添野菜出荷組合は12月10日、同地域で出荷反省会を開いた。組合員約10人が参加し、販売実績や栽培の課題を確認した。園芸特産指導員によると、2024年産は夏季の高温などで下位等級が多く、全体数量も1割減少。平均単価は特に後半の作型で全国的な不作による数量減により前年比14%増と統括した。また、県庄内総合支庁農業技術普及課の担当者が2025年産の安定生産に向けた栽培管理を説明。高温や寡日照による草勢・品質低下への対策として、主枝や側枝を整理し不要な果実や葉を摘除する他、多湿条件下による病害虫発生への対策として予防・適期防除を徹底するよう呼び掛けた。



シイタケ・収量確保に向けて栽培のポイント学ぶ

椎茸部会は12月10日、三川支所で全体研修会を開いた。部会員約10人が参加し、菌床シイタケの安定生産に向けて栽培管理のポイントを確認した。この日は、種菌メーカー担当者が年末年始発生に向けた休養管理や培養管理の重要性を説明。シイタケは高温に弱いため換気や遮光、散水などで菌床内を高温にしない他、ハウス内を加温し菌床に水分が行き渡るように管理するようアドバイスした。参加した部会員らは、芽づくりしやすい温度管理や十分な水分を与えることが収量確保につながることを学んだ。同部会では、主に関東市場へ向けて年間出荷量約65トンを目標に出荷作業へ取り組んでいく。



エダマメ・安定生産に種子の選別重要

枝豆部会は12月5日、羽黒支所分析センターで2025年度に播種予定である枝豆種子の選別目揃え会を開いた。種子生産者や部会役員ら5人が参加し、種子の選別と水分量や重量の測定を行った。この日は、4月下旬から始まる播種作業に向けて、品質の良い種子を確保するため、水分量と重量を測定後、種子を手作業で選別し、選別基準を確認した。園芸特産指導員によると、収穫時期の9月中下旬に雨が続いた影響でカビの発生が多かったという。今後は、正常な種子に影響しないようカビた種子は取り除き、良好な種子を選別することを呼び掛けていく。選別した種子は発芽試験後、4月に部会員へ配布する。



軟白ネギ・出荷調整徹底し、高品質出荷目指す

長ねぎ部会は12月12日、本所で軟白ネギの目揃え会を開いた。参加した部会員約20人が、出荷規格や調整・選別作業のポイントなどを入念に確認した。2024年産は、高温の影響で生育に停滞が見受けられたものの、病害虫などの被害はなく現在は順調に生育が進んでいる。この日は、園芸特産指導員が調整時の留意点を説明。基盤部分は5割程度残し、ネギの全長は72センチに切り揃える他、収穫したネギは曲がり防止のため明るい場所に置かないよう呼び掛けた。JAは、軟白ネギの出荷量55ト販売高2,200万円を目標とし、主に関東市場へ向けて3月末まで出荷していく予定。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って

JA NEWS



食料品等寄贈し地域に貢献/女性部フードドライブ

フードロス削減と地域貢献のためJA庄内たがわ女性部は12月2日、持続可能な開発目標(SDGs)の一環として、鶴岡市の社会福祉協議会へ食料品や生活用品を寄贈した。この日は、同部5支部の部員から事前に集められた食料品と生活用品225点を同市の社会福祉協議会へ寄贈。蓮池まき女性部長と池田玲子女性副部長、宮崎ちよ女性副部長が代表して届けた。同会担当者は「毎年ご寄付いただきありがとうございます。食料品と一緒に皆様のお気持ちも生活に困っている人へ届けたいと思う」と述べた。同部では同月3日に三川町の社会福祉協議会へ寄贈、16日には庄内町の社会福祉協議会へ寄贈した。



女性部の声をJA役員へ/JA役員とJA女性部との意見交換会

女性部は12月11日、本所でJA役員との意見交換会を開き、信用・共済・営農・総務部門と(株)あいとサービスに対し意見要望を伝えた。この日は、全8支部の女性部員、JA役員ら約40人が出席し、支所再編に伴う女性部の在り方や今後の体制、生産資材店舗の販売対応、ATMの配置などJA事業や地域農業の更なる発展に向け相互に熱心に意見を交わした。また情報提供として、定期貯金のキャンペーンや共済商品の紹介、あいとサービスのLINEお友達特典の説明などが行われ、部員らは興味を示していた。同部では今後も、JA役員に向けて女性ならではの気づきを継続して伝えていく。



家畜の御霊に感謝を込め家畜慰霊祭

JAは12月3日、日頃から頂いている家畜の命への感謝を目的に、羽黒支所で家畜慰霊祭を執り行った。この日は、管内の酪農、肉用牛、養豚、綿羊の各生産者や行政、関係機関、JA役員ら約40人が出席。鶴岡市羽黒地域にある御瀧皇大神社の真木坂勝司が斎主を務め、我々の糧となった家畜の御霊を供養し、感謝の祈りを捧げた。また鎮魂の祈りを込め、出席者が玉串を奉納した。家畜慰霊祭の後、出席者らの意見交換の場を設け、生産現場の意見や要望を聞き検討していくこととした。JAは今後も、健康な家畜の生育に努めていく他、豚熱などの病気の感染予防を徹底し、安心・安全な畜産を続けていく。



庄内柿・剪定のポイント学び大玉生産目指す

庄内柿生産組織連絡協議会は12月23日、羽黒支所分析センターで女性生産者向けに庄内柿の剪定講習会を開いた。生産者10人が参加し、大玉生産に向け剪定時の留意点を学んだ。この日は、庄内柿アグリアドバイザーの齋藤裕志さんが剪定時のポイントを実演しながら説明。齋藤さんは「いい結果母枝をいかに配置するかが重要。枝の長さや太さ、向きに着目して充実した枝を確保してほしい」とアドバイスした。2024年産は、生産者の徹底した栽培管理により集荷された庄内柿のL玉以上比率は83%を記録。同協議会は今後、管内各地域で講習会を開き、大玉生産につながる栽培技術の指導に努めていく。





介護保険事業のご案内

介護が気になり始めたら…
お気軽にご相談ください。

ケアマネジャー（居宅介護支援事業）

介護保険を利用する際の相談窓口です。利用申請の代行手続きや介護保険に関する相談などお気軽にご相談ください。



ホームヘルパー（訪問介護事業）

ご自宅に訪問してホームヘルパー（訪問介護員）が食事、入浴排せつの介助や調理、掃除などの家事支援をおこないます。



福祉用具レンタル販売事業

快適に自宅で暮らせるように「車いす」や「電動ベッド」「手すり」などをレンタルします。あわせて、入浴用品やポータブルトイレなどの販売もいたします。



デイサービス（通所介護事業）

施設に通い、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練などを日帰りして提供します。利用者の自宅から施設までの送迎も行います。



介護のお問い合わせ

（居宅介護支援<ケアマネジャー>、訪問介護<ホームヘルプ>、通所介護<デイサービス>、福祉用具レンタル・販売）
総務部福祉介護課 〒999-7621 鶴岡市長沼字宮前23-1 TEL0235-33-8165

「心の声」

「あなたの2025年の
目標を教えてください。」



私の今年の目標は「スマホを使いこなす」です。メールやLINEは迷いながらも何とかできますが、その他の機能は全く使えません。せっかくだらいろいろ楽しむことができるので、今年はスマホ完全マスターを目指します。 K・Tさん【埼玉県】

お金の勉強してます！FPの資格が取れたらと！1月試験を受けるので、頑張ります。 S・Nさん【栃引】

1月早々私は年齢が1才多くなります。自分ではまだまだ若いつもりでいるのですが、大好きな言葉で「一生運青春」です。家族みんな健康で、人に寄り添っていく！！が目標です。 Y・Sさん【栃引】

仕事するときの同じ失敗するなどを2度と繰り返さないことです。 K・Tさん【埼玉県】

3kgダイエット。毎年言っていますが… H・Kさん【愛知県】

転勤のため、来年度は新天地で仕事に臨むことを予定しています。初めて住む土地であり、慣れるまで苦労はすると思いますが、健康第一を考え、日々を過ごしたいと思います。 M・Kさん【京都府】

LINEのお友達登録で
お得なクーポンや
情報がもらえる！！



●ご注文・お問合せ先
羽黒のうきょう食品加工南

〒997-0131
鶴岡市羽黒町川代字川代山406
☎0235-62-2200

特 麺類全品10% OFF

そば処「福湊庵」
※クーポン利用期間：2025年1月12日（日）～2025年3月31日（月）迄 ※1枚につき1グループまで利用可
※他のクーポンとの併用不可 ※休業日1、2月毎週 火曜・水曜/3月以降 毎週 水曜（祝日を除く）

特 指定の品を よりどり3品 500円 （税込）

※クーポン利用期間：2025年1月12日（日）～2025年3月31日（月）迄 ※1枚につき1グループまで利用可
※他のクーポンとの併用不可 ※休業日1、2月毎週 火曜・水曜/3月以降 毎週 水曜（祝日を除く）

産直んめ農マルシェ 1月・2月イベントのお知らせ

1/18日・19日
**全農
神奈川
フェア**
新規提携JAより直送の野菜などを販売。

2/8日～11日
**スイーツ
バイキング**
1個300円
その他、生産者手作り商品もごぞいます。

SNSも
チェック
してね!



X (旧Twitter)
@jashonai730



Instagram
ja_shonai.marche



LINE ID
@498zaito

JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

10月から3月までの営業時間9：00～17：00(定休日：1/1～3、1～3月の第2・第4水曜日)
なお、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。
〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています! オンラインショップ 産直んめ農マルシェ 検索

組合員異動について

経営移譲等で組合員資格に異動があった場合は、当JAの定款に基づき資格変更の手続きを行いますので、お近くのJA各支所管理課へお申し出下さい。

「心の声」2月号投稿のテーマ 「あなたにとって、 癒しを感じるのとはどんな時ですか?」

【応募方法】下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。①テーマの答え(本紙やホームページ等で掲載致します)②住所・氏名・年齢・電話番号③広報誌の感想、JAへの意見・要望など
【あて先】JA庄内たがわ広報情報係 〒999-7611 鶴岡市上藤島字備中下3-1 E-mail kouhou@ja-shonai.or.jp
【しめきり】令和7年1月31日迄 当日消印有効
※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

今月のプレゼント
ソレイユルパン
シャルドネアンウッド
1名様

報告
理事会だより
令和6年12月26日

（議案）
第1号 令和6年度11月末実績検討について
第2号 令和6年9月期半期ディスクロージヤリ誌開示について（案）
第3号 農林中央金庫への期限付き劣後ローン貸出について（案）
以上3議案、慎重に審議され原案通り決定されました。

（報告事項）
・組合員の異動について
・令和6年度女性総代研修会の開催について
・令和7年度職員採用内定者について
・令和6年度提案制度の入選結果について
・令和6年度上半期決算にかかる監事監査報告書について
・子会社の令和6年度上半期決算にかかる監事監査報告書について
・法人向け特別キャンペーンについて
・時価算定要領の改正について
・JA庄内たがわ「つや姫」コンテスト2024の結果について
・令和6年度庄内柿販売状況について
・令和6年度産米追加精算について
・その他

俳句教室
2024年 年間賞発表
ご入賞おめでとうございます。入賞者には表彰状と記念品を贈らせていただきます。

◎最優秀賞（2月号に掲載）
元旦の 能登を襲ひ来 大地震
鶴岡市越中山 菅原 しづ子

◎優秀賞（1月号に掲載）
足下に 紅葉見下ろす 月の山
庄内町余目 早坂 宗笑

◎優秀賞（1月号に掲載）
名月や 二胡に乗せたる 李白の詩
鶴岡市鉄出 渡部 巖

◎新年詠
子等交ふ
雪中田植
賑はへり
阿部月山子

「評」李白の最後は酔って水中の月を捕らえようとして溺死したという。名月と李白の詩の取合せが適切。



ホームページ



X
(@tagwa)



Instagram

あ・い・わ
阿部 真彩さん 藤島支所管内

地元で製造系の仕事をしています。
休日は、家で映画を観たり、ペットの
犬や猫と遊んだりして過ごしています。
今年は、北海道へ旅行に行きたいです。

撮影場所 = 庄内神社

衣装協力 = 東京丸栄

